

静音性と排熱効率に優れたNetShelter CXを導入し、ラックマウント型サーバーをオフィスで運用

NA-MU
The Document Factory



背景

- 24時間365日の可用性を実現するため、ラックマウントサーバーでファイルサーバーを構築
- オフィスへの、サーバー設置による騒音と発熱対策が課題

導入コンポーネント

- NetShelter™ CX 18U × 1台

導入効果

- 静音性の高いNetShelter CXにより騒音のないオフィス環境を実現
- ラック自体が持つ排熱機構により熱によるサーバー機器類への負荷を低減

導入企業

■ 株式会社NA-MU

- 事業概要： DTPを中心に、コンテンツの制作や翻訳業務などを行なう株式会社NA-MU。言語間でのデータコンバートノウハウを活かし、グローバル展開される製品の操作マニュアルなどの多言語対応が可能。入稿作業に多くの時間を取ることができない定期刊行物や、短期間でのコンテンツ制作に対応するために24時間対応の体制を持つ。
- 所在地： 〒260-0027
千葉県中央区新田町2-6 三和ビル3F
- URL： <http://www.namu.co.jp/>



株式会社NA-MUでは、DTPをはじめとした各種業務で使うファイルを管理するため、自社でファイルサーバーを運用している。設置場所は、従業員が業務を行なっているオフィスの片隅。高い可用性と拡張性を実現するため、データセンターで使用されるラックマウント型のサーバーを使ってファイルサーバーを構築しており、オフィスに響く騒音と排熱処理が課題となっていた。

その課題を解決したのは、サーバーのリプレース時に導入したシュナイダーエレクトリックのNetShelter CXだ。リプレース前よりもサーバーが発する騒音が大きくなっているにも関わらず、以前より静かなオフィス環境を実現した。NetShelter CXは音を遮断する密閉性を持ちながら、排熱機構も内蔵しているため、内部に設置されている機器類への熱による負荷も低減でき、ファイルサーバーの安定性や機器類の長寿命化にも効果が期待されている。



NetShelter CXのおかげで、
 静かなオフィス環境を実現することができました。
 しかも、ラックの中に熱はこもっていません。
 騒音と発熱の両方にしっかり対応してくれるのが嬉しいですね。

株式会社NA-MU 制作部 マネージャー 松本 崇 氏



株式会社NA-MU
 制作部
 マネージャー

松本 崇 氏



富士ゼロックス千葉株式会社
 営業統括部
 ソリューション営業部
 営業1課

黒澤 大輔 氏



富士ゼロックス千葉株式会社
 営業統括部
 ソリューション営業部
 SE課 SE

片岡 義就 氏

大きいので、オフィスの隅に設置していましたが、それでも騒音は依然として課題でした。しかも、そこは西日の当たる場所で、エアコンが止まる休日には熱だまりになっていました」(松本氏)

騒音や機器の動作温度を気にしながら運用を続ける中、転機が訪れた。サーバーのリプレースである。音の静かなサーバーを探して展示会などに足を運び、情報収集する中で知ったのが、ラック自体で静音性を高めるシュナイダーエレクトリックのNetShelter CXだった。

「静音性の高さに魅力を感じたNetShelter CXですが、静かにするために覆えば熱もこもるのではないかと、当初は心配しました」(松本氏)

NetShelter CXの導入にあたり、インテグレーションを担当する富士ゼロックス千葉株式会社が支援を行った。「弊社はマルチベンダーの立場として、導入予定機器の発熱量とNetShelter CXの排熱性能を比較し、お客様のご要望とビジネス環境にとって最適な製品であることを確認した上で導入を進めました」(黒澤氏)

新たに導入されたサーバーは以前のものよりも大きな騒音を発するが、NetShelter CX内に設置することで、オフィスに響くノイズは比べものにならないほど小さくなっている。

「当初心配した発熱もまったく問題なく、サーバーは安定稼働しています。設置場所も以前と変わらず西日を受ける条件にも関わらず排熱機能が十分に働いており、ラック内に熱がこもることはありません」(片岡氏)

エアコンが停止する夏の休日でも、ファイルサーバーが高温によるアラートを発したことは一度もない。普段は静かで存在を忘れるほど、その排熱効率と静音性を実感している。

「NetShelter CXのおかげで、静かなオフィス環境を実現することができました。しかも、ラックの中に熱はこもっていません。騒音と発熱の両方にしっかり対応してくれるのが嬉しいですね」(松本氏)

24時間止まらないファイルサーバーに 高い排熱効率と静音性をプラス

株式会社NA-MUでは、自社でファイルサーバーを設置し、運用している。DTPをはじめ、サイズの大きなファイルを多数扱うため、ファイルサーバーが止まるとは業務も支障をきたしてしまう。その安定運用には運用開始当初から心を砕いてきた。

「DTP作業は深夜に及ぶことが多く、受け持つ制作物の進行スケジュールによっては週末にかけて作業が行なわれることも珍しくありません。こうした業務を支えるために、ファイルサーバーは24時間365日利用可能な状態に保つ必要があります」(松本氏)

業務利用に耐える安定性と、容量増加の要望に柔軟に応える拡張性を求め、ラックマウント型のファイルサーバーを採用。サーバーームを別途用意するにはシステム規模が小さいため、オフィスに設置して運用していたが、いくつかの課題を抱えていたという。

「ラックマウント型のサーバーは排熱ファンの音がかなり

シュナイダーエレクトリック株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦2-15-6 オアゼ芝浦MJビル
 TEL : 03-5931-7500 FAX : 03-3455-2030
 E-Mail : jinfo@schneider-electric.com
 www.apc.com/jp
 www.schneider-electric.com